

平成 23 年山武市「コミュニティ・ビジネス講座」交流会

2011 年 9 月 4 日（日）

ＣＢ、地域資源、ＩＣＴ活用による総合的活性化

主任講師：細内 信孝

（コミュニティビジネス総合研究所 代表取締役所長）

◆コミュニティ・ビジネス、地域資源、ＩＣＴ活用による総合的活性化とは

- 1 本日の基本テーマ
- 2 地域問題の解決に向けたコミュニティ・ビジネス
- 3 コミュニティ・ビジネスの総合的視座
- 4 インターネットによるユビキタス社会
- 5 ユビキタスとは何か
- 6 ブロードバンド活用による情報財の時代
- 7 情報時代の新しいコミュニティづくりに向けて
- 8 田園都市（山武市）における共感・共鳴のリエゾン（融合）事例
- 9 新たな公共づくりに向けて
- 10 ＩＣＴ活用によるＣＢ事例
- 11 これからは地域間競争の時代
- 12 これからの地域の仕事起こしはコミュニティ・ビジネス
- 13 地域の総合的活性化に向けてのポイント

コミュニティ・ビジネス継続
の秘訣はあせらないこと

どうやったら、ちゃんと
継続できるのだから

コミュニティ・ビジネス失敗例の検証

～そこには必ず理由があります！～

- ① 十分に報酬を取らず、ボランティア活動になってしまいます。
→収益をあげるためのビジネスモデルをしっかりと作りましょう。
- ② 「想い」が先走り、無計画に活動を進めてしまいがちです。
→新しいことをする場合は、事業計画書を必ず作り（時間がないなら簡単なスケジュール・メモ的なものでも可）、内容のみならず、分担、段取り等をチェックしながら進めましょう。
- ③ 代表者個人に負担がかかりすぎてしまいます。
→パートナーやスタッフとの役割分担を進めましょう。また、仕事を任すことのできるスタッフを育てましょう。自分でばかり抱え込むと思うように動けなくなります。
- ④ 団体の内部で意見の相違が起きてしまいました。＜内部分裂＞
→ミッションや活動の原点に立ち返ってみましょう。
- ⑤ 起動に乗り始めて安心してしまい、サービスの質が下がっていないか不安です。
→顧客満足度を常にチェックしていきましょう。（定期的に、気の置けない顧客や世間の声を聞いてみましょう。）
- ⑥ 補助金、助成金に頼りがちです。
→必要な補助金等を得ることは必要ですが、あまりにもあてにすると、なくなった場合に困るので、補助金等がなくなっても自立できる体質に早くなれるようにしましょう。
- ⑦ 地域（コミュニティ）と上手につきあっているかどうか不安です。
→コミュニティ・ビジネスは、地域とは持ちつ持たれつの関係です。地域住民との接点を見つけましょう。例えば、積極的にイベントを実施・参加するなどして、地域との交流の中で新たな顧客開発や事業改善・展開のヒントを見つけるようにしてみましょう。最初はギクシャクするかもしれませんが、やっているうちに、きっと楽しくなってきます。
- ⑧ 活動が他人任せになってしまいがちです
→活動に参加するみんなで定期的に話し合ひましょう。一人ひとりがミッションを再確認して共有化し、自己の役割と責任を自覚して取り組むよう、内部での意思疎通・コミュニケーションを図りましょう。

<コミュニティ・ビジネス起業を失敗しないために>

失敗のポイント

- ★ 想いの先走り
- ★ 仲間割れ（内部分裂）
- ★ 補助金切れ
- ★ 役所との関係がうまくいかない
- ★ リーダーシップ不足
- ★ 資金不足
- ★ 仲良しクラブのまま
- ★ 商品サービスの低下
- ★ 家庭の反対
- ★ 他人任せ
- ★ 目的がはっきりしていない
→何をやりたいのか？
- ★ 後継者が育っていない
- ★ 経理など会計システムができていない

事例

C B 起業を失敗しないために、

あせらず、まずは1年間を目標に頑張ってみましょう！